

2024年3月29日

## グリーンローンの第一号融資契約締結について

当行は、株式会社球磨村森電力（以下、「球磨村森電力」という。）と「グリーンローン（以下、「GL」という。）」の融資契約を締結しましたのでお知らせいたします。

今回球磨村森電力では、当行の支援によりGLの要素を満たす「フレームワーク」を作成し、その内容を第三者機関からの検証を踏まえ、公表されました。

なお本案件は、当行がフレームワーク策定に関与した初のグリーンローン案件となります。当行は今後もESG投融資の推進を通じて、地域のお客さまとともに、持続可能な社会づくりへ向けた取り組みを進めてまいります。

## 記

## 1. 融資概要

契約日	2024年3月29日
融資額	総額0.9億円
資金用途	球磨村における再生可能エネルギー普及に係る設備資金
第三者機関	株式会社格付投資情報センター（R&I）

## 2. 企業概要

企業名	株式会社球磨村森電力
代表者	代表取締役 中嶋 崇史
所在地	熊本県球磨郡球磨村大瀬 1121
設立年月	平成30年2月
事業内容	電力小売業

球磨村森電力は、球磨郡球磨村に拠点を構える地域新電力会社であり、エネルギーの地産地消を目的として、球磨村との連携協定により電力小売事業・再生可能エネルギーの販売・電源開発を主な事業としております。

再生可能エネルギーを中心とした電力販売や、太陽光発電設備の無償設置サービス（「PPA事業」）として“ヤネエネ”を提供するなど、地域の脱炭素化に貢献する事業を積極的に推進しています。

## 3. 本プロジェクトについて

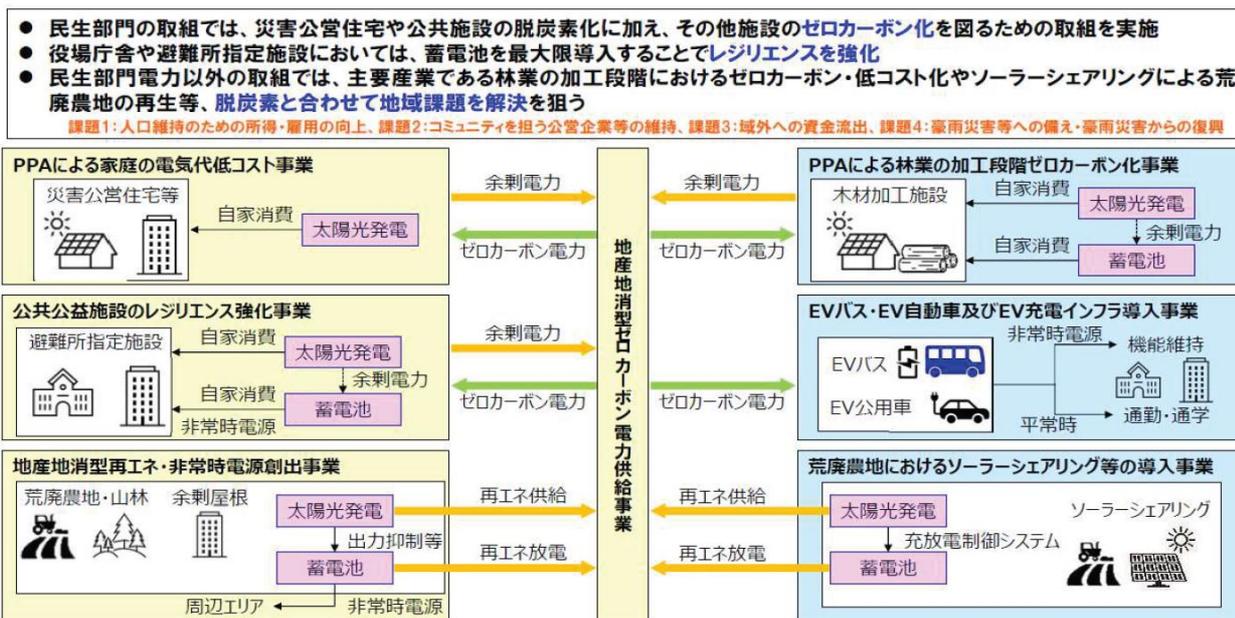
今回のプロジェクトは、『「脱炭素×創造的復興」によるゼロカーボンビレッジ創出事業』として、環境省の「脱炭素先行地域」として選定された事業であり、2022年から2028年にかけて実施される総事業費11.7億円のプロジェクトです。「再生可能エネルギー」を軸に、球磨村最大の産業である「林業」、村民の「定住」、集落等のコミュニティ維持・生活基盤の1つである「営農」、教育・医療・その他住民サービスである「公共」という4セクターにおいて、再エネ導入を中心にゼロカーボンを実現することを目的としています。

また、2050年に向けて、球磨村の88%を占める森林資源を最大限に生かした「CO<sub>2</sub>の森林吸収」を武器に、球磨村が大幅な「カーボンマイナス」を実現し、都市部や大手民間企業のゼロカーボンをバックアップする「ゼロカーボンサポートビレッジくまむら」を目指すことも意図されています。

うるおいある未来のために。

【本プロジェクトのスキーム図】

(出典) 球磨村他～「脱炭素×創造的復興」によるゼロカーボンビレッジ創出事業 資料より



4. SDGsへの貢献

SDGs	
	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに -7.2: 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
	11 住み続けられるまちづくりを -11.6: 2030年までに、大気質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
	13 気候変動に具体的な対策を -13.1: 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

(参考) 当社のグリーンローンフレームワークは、下記URLをご参照ください。

[https://www.higobank.co.jp/upload/GL\\_20240329\\_kumamura.pdf](https://www.higobank.co.jp/upload/GL_20240329_kumamura.pdf)

(参考) R & Iのセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

グリーンローンとは、SDGs達成に向けた国際的な金融枠組みに基づくESG/SDGs融資の一種であり、環境改善効果・社会課題解決を生み出すプロジェクトに取り組む際に、効果を定量的に評価し、融資との紐付を明確にする手法です。資金の用途についても、国が策定している「ガイドライン」に沿ったプロジェクトに限定されています。こうした取り組みを公表し、第三者機関からの評価を受けることにより、お客さまの企業価値向上に貢献することを目的としています。

《本件に関するお問い合わせ》  
 肥後銀行 法人コンサルティング部  
 担当：村崎  
 電話 096-326-8602